一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款・規程集

2023年5月27日 現在

1. 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款
2. 会費に関する定款補則
3. 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款細則
 - ・別紙1「入会申込書」
 - ・別紙2「異動届」
 - ・別紙3「退会届」
4. 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会休会規定
 - ・別紙1「休会届」
 - ・別紙2「復会届」
5. 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会役員選挙規程
 - ・選挙管理委員会事務の手引
 - ・役員選挙立候補・推薦届け
6. 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会役員会費・謝礼・委託費等規定
 - ・講師謝礼支払基準
7. 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会功労表彰規定
 - ・功労表彰規定の取り扱いについて
 - ・功労表彰候補者推薦書

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会

一般社団法人 静岡県医療ソーシャルワーカー協会

定 款

第1章 総 則

(名称)

第1条 本法人は、一般社団法人 静岡県医療ソーシャルワーカー協会（以下「本会」という）と称す。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を静岡県静岡市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、医療ソーシャルワークの発展を期するため、医療ソーシャルワーカーの専門的知識及び技術の向上を図り、会員相互の協力をもってすべての人々の医療と福祉の増進に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 保健医療分野における社会福祉の充実及び向上を図る事業
- (2) 会員の資質及び専門技術の向上に関する事業
- (3) 医療ソーシャルワークの調査、研究に関する事業
- (4) 医療ソーシャルワークの普及、啓発に関する事業
- (5) 定期刊行物の発行に関する事業
- (6) 関係団体との連携、及び協力に関する事業
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員の構成及び資格

(会員の種別)

第5条 本会の会員は、次の3種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「一般法人法」という。）上の社員とする。

(正会員)

- (1) 正会員は、四年制大学において社会福祉を専攻もしくは社会福祉士または精神保健福祉士等の国家資格を有し、静岡県内において医療ソーシャルワークに係る業務に従事する者。

(2) 前項(1)以外の者で、下記の条件をいずれも満たす者。

1. 1年以上の実務経験

2. 当協会の主催する初任者研修会、その他当協会が認める研修会を受講すること。

(準会員)

前項(2)に該当しないがその基準を満たすまでの期間にある者。

(賛助会員)

(1) この協会の趣旨に賛同する者で、理事会が認めた者。

(2) 長年、当協会の発展に寄与した者。

(会員の義務)

第6条 本会の会員は、本定款を遵守し、本会の目的達成に努め、事業の執行に積極的に参加すること。

2 会員で医療ソーシャルワーク業務に従事する者は、日本ソーシャルワーカー連盟倫理綱領(以下「倫理綱領」という)を遵守し、資質及び学術の向上に努めること。

(会員の入会)

第7条 本会に入会しようとする者は、理事会において別に定める入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

2 既納の会費は返還しないものとする。

(任意退会)

第9条 本会を退会しようとする者はその旨会長に届けて退会することができる。ただし、退会年度の会費を納入しなければならない。

(除名)

第10条 本会の会員が次の各号の一に該当する場合には、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

(1) 本会の定款及び規則に違反したとき

(2) 本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為をしたとき

(3) その他除名すべき正当な事由があるとき

(倫理綱領違反の懲戒)

第11条 本会の会員が、倫理綱領に違反する行為があったと申し立てられ、理事会が懲戒相当と判断するときは懲戒処分を決定することができる。

2 懲戒処分に関する事項は、理事会において別に定めるものとする。

(退会事由)

第12条 本会の会員は、第9条及び第10条の場合のほか、次のいずれかに該当するに至ったとき退会する。

(1) 死亡したとき

- (2) 失踪宣告を受けたとき
- (3) 入会金の納入が期日までになかったとき
- (4) 会費を滞納し、納入すべき年度が2年度に渡った年度末までに納入がなかったとき。
(除名、資格喪失等に伴う権利及び義務)

第13条 本会の会員が、退会（除名処分を含む）したときは、本会に対する会員としての権利を失い、義務を免れる。

ただし、未履行の義務はこれを免れることはできない。また、除名処分を受けた者の再入会はこれを認めないものとする。

(抛出金品の不返還)

第14条 本会は、本会の会員が既に納入した入会金、会費その他抛出金品は、これを返還しないものとする。

第4章 総会

(構成)

第15条 総会は、正会員をもって構成し、一般法人法上の社員総会とする。

(総会及び臨時総会)

第16条 本会の総会は、定時総会及び臨時総会の2種類とする。

- (1) 定時総会は、毎年1回会長が招集し、正会員をもって構成する。
- (2) 臨時総会は、必要に応じて開催する。

(権限)

第17条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第18条 定時総会は、毎事業年度の末日の翌日から3か月以内に開催し、臨時総会は必要のある場合には、いつでも開催することができる。

(招集)

第19条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき、会長が招集する。

2 総正会員の議決権の5分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、臨時総会の目的である事項及び招集の理由を示して、臨時総会の招集を請求することができる。

3 会長は、臨時総会招集の請求があったときは、その日から6週間以内に臨時総会を招集しなければならない。

(招集手続)

第20条 総会を招集するには、一般法人法第38条第1項第3号又は第4号に掲げる事項を定めた場合を除き、総会の日の一週間までに、正会員に対して招集通知を発するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、総会は、正会員全員の同意のあるときは、一般法人法第38条第1項第3号又は第4号に掲げる事項を定めた場合を除き、招集の手続を経ることなく開催することができる。

(議長)

第21条 総会の議長は、総会において、出席した正会員の中から選出する。

(議決権)

第22条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第23条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって決する。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 残余財産の帰属
- (5) その他法令で定められた事項

(書面による表決及び委任)

第24条 総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合は、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第25条 総会の議事については、法令で定めるところにより次の事項を記載した議事録を作成する。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員の現在員数及び出席者数(表決委任者の場合にあっては、その旨を付記すること。)
- (3) 審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、議長及びその総会において選任された議事録署名人2名が記名押印する。
- 3 議事録は、総会の日から10年間主たる事務所に備え置くものとする。

第5章 役員等

(役員)

第26条 本会に次の役員を置く。

(1) 理事 5名以上20名以内

(2) 監事 2名以内

- 2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長、1名を事務局長とすることができる。
- 3 前項の会長をもって一般法人法上の代表理事とし、本法人の代表権をもつ者とする。また、副会長、事務局長を一般法人法に定める業務執行理事とする。

(役員を選任)

第27条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 会長、副会長、事務局長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、本法人又はその子法人の理事若しくは使用人を兼ねることができない。
- 4 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならないものとする。なお、監事についても同様とする。
- 5 他の同一団体（公益法人を除く）の理事又は使用人である者、及びその他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならないものとする。なお、監事についても同様とする。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及び本定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 会長は、法令及び本定款で定めるところにより、本会を代表し、職務を執行する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 4 事務局長は、協力員と事務局を構成し、本会の事務を統括する。
- 5 会長、副会長、事務局長は、3か月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成するとともに総会に報告する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第30条 役員の任期は、次のとおりとする。

- (1) 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結のときまでとし、再任を妨げない。
- (2) 任期満了前に退任した役員の補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (3) 役員が欠けた場合又は本定款で定める役員の最低の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、その職務を執行しなければならない。

(解任)

第31条 役員が次の各号の一に該当するときは、総会において、総正会員の半数以上かつ総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数の決議をもって解任することができる。この場合、その役員に対し、その旨をあらかじめ通知するとともに、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に耐えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったと認められるとき。

(報酬等)

第32条 役員は無報酬とする。ただし、役員には費用を弁償することができる。

本項に関し必要な事項は、総会の決議を経て、会長が別に定める。

(取引の権限)

第33条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引
- (2) 自己又は第三者のためにする本会との取引
- (3) 本会がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における本会とその理事との利益が相反する取引

(名誉会長及び顧問)

第34条 名誉会長及び顧問は総会の議決を経て会長が委嘱し、重要な会務について会長の諮問に応ずる。

第6章 理事会

(構成)

第35条 本会に理事会を置く。

理事会は、会長、副会長、事務局長及び理事をもって構成し、その過半数の出席がなければ開くことができない。

(権限)

第36条 理事会は、次に掲げる職務のほか、法令及び本定款で定める職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
 - (2) 理事の職務の執行の監督
 - (3) 事業計画及び予算の決定
 - (4) 会長、副会長及び事務局長の選出と解職
 - (5) 総会に附議すべき事項
 - (6) その他本会の運営に関する事項
- (招集)

第37条 理事会は、必要に応じて会長が招集する。会長が欠けたとき又は会長に事故あるときは副会長が招集する。

2 理事会を招集するときは、理事会の日時、場所、目的その他必要な事項を記載した書面（電子媒体を含む）により、理事会の日の3日前までに理事及び監事に通知しなければならない。ただし、会長が緊急に理事会を開催する必要があると認めるときはこの限りではない。

(決議)

第38条 理事会の議長は、会長が行う。会長が欠けたときは副会長が行う。

2 理事会の議事は、理事の過半数が出席し、その過半数の同意をもって決する。

3 前項の規定にかかわらず、一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第39条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 議事録には、議長及び出席した監事が、記名押印する。

(運営組織)

第40条 業務執行のための運営組織及び業務執行理事が担当する業務の内容等について必要な事項は、理事会の議決を経て会長が別に定める。

(委員会)

第41条 会長は本会の運営上必要と認める場合、委員会を設置することができる。

2 会長は委員会を設置する場合、理事会の同意を得なければならない。

3 委員の任期は1年とし、会長が委嘱する。

4 委員会は委嘱事業について、理事会へ報告しなければならない。

第7章 会計

(財産の構成)

第42条 本会の財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立調書の財産目録に記載された財産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 事業に伴う収入

(4) 受託事業に伴う収入

(5) 資産から生ずる収入

(6) 寄付金品

(7) その他の収入

(財産の管理)

第43条 本会の財産は、会長がこれを管理し、その方法は、総会の議決を経て会長が別に定める。

(経費の支弁)

第44条 本会の会費は、財産をもって支弁する。

(会計年度)

第45条 本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事業計画及び予算)

第46条 本会の事業計画及び予算については、毎事業年度開始の前日までに会長が作成し、理事会及び総会の承認を得なければならない。

(暫定予算)

第47条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第48条 本会の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、会長が事業報告書、損益計算書、貸借対照表及び財産目録等その他法令で定める書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を得なければならない。

2 前項の承認を受けた書類については、定時総会に提出し、事業報告書についてはその内容を報告し、その他の書類については総会の承認を受けなければならない。

3 第1項に定める書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款及び社員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(剰余金の不分配)

第49条 本会は、剰余金を分配することはできない。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第50条 本定款を変更するときは、第23条第2項の決議をもって行うものとする。

(解散)

第51条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により、解散する。

2 前項の総会の決議は、総正会員の半数以上であって議決権の4分の3以上に当たる議決をもって行う。

(残余財産の帰属)

第52条 前条の定めにより清算する場合において、本法人が有する残余財産は、第23条第2項の決議を得て、本会と類似の目的を持つ団体に贈与するものとする。

第9章 公告

(公告の方法)

第53条 本会の公告は、本会の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第10章 附則

(細則)

第54条 本定款の施行について必要な事項は、理事会の議決を経てこれを別に定める。

(経過規定)

第55条 本定款が成立する前に静岡県医療ソーシャルワーカー協会の正会員であった者は、異議のある場合を除き、入会手続きを経ることなく第5条における正会員となる。

2 本定款が成立する前に静岡県医療ソーシャルワーカー協会の準会員、賛助会員であった者は、異議のある場合を除き、入会手続きを経ることなく第5条における準会員、賛助会員となる。

3 前項により、正会員又は賛助会員となる会員は、入会金を支払う義務を負わない。

(設立時の事業年度)

第56条 本会の最初の事業年度は、本法人設立の日から令和4年3月31日までとする。

(設立時の社員)

第57条 本会の設立時の主たる事務所の住所は次のとおりである。

静岡市葵区北番町23番地、JA静岡厚生連静岡厚生病院内

第58条 本会の設立時社員の氏名、住所は次のとおりである。

中村 敬

檜木博之

矢野裕基

早川貴広

山本里佳

(設立時の役員)

第59条 本会の設立時の理事、代表理事及び監事は次のとおりである。

設立時理事

会長 中村 敬

副会長 檜木博之
事務局長 矢野裕基
理事 山本秀明
下里周平
遠藤卓馬
松野竜二
秋田菜穂子
山本敬子
鈴木若菜（旧姓：小泉若菜）
小澤一道
久保田勇貴

設立時代表理事

中村 敬

設立時監事

早川貴広

山本里佳

（定款に定めのない事項）

第 60 条 本定款に規定のない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

会費に関する定款補則

(目 的)

第1条 この定款補則は、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款第8条に基づき、会員の会費に関する基本事項を定める。

(入会金)

第2条 入会金は、正会員、準会員とも 1,000 円とする。

(会 費)

第3条 会費は、年額を次のとおりとする。

正会員 7,000 円

準会員 7,000 円

賛助会員 一口 7,000 円

2 新会員でその年の10月1日以降入会した者の、その年の会費はこれを半額とする。

(臨時会費)

第4条 本会は、社員総会の決議により、正会員から臨時会費を徴収することができる。

(納入)

第5条 会員は、毎年度7月末日までに当該年度の年会費を理事会が別に定める方法により支払う。

2 新会員は、定款第6条第2項の通知を受領した日から2週間以内に、入会金及び当該年度の会費を、理事会が別に定める方法により納入しなければならない。

(入会金または会費の未納)

第6条 代表理事は、入会金または会費を支払わない会員に対し、その支払を催告した上、会報等の通知を停止することができる。

(徴収および減免)

第7条 会費の徴収および減免に関する事項は、理事会が別に定める。

(変 更)

第8条 この定款補則は、社員総会の議決を経なければ変更することができない。

(会費の使途)

第9条 正会員会費は、毎事業年度における合計額の50%以上を当該年度の公益目的事業に、残余は、その他の事業及び管理費用に充当する。

附 則

1 この定款補則は、2022（令和4）年5月28日制定し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款細則

(細則の目的)

第1条 この細則は、定款第54条に基づき、本会の事業を円滑に行うために、必要な事項を定める。

(入会の手続き)

第2条 定款第7条に基づき本会に入会しようとする者は、別紙1「入会申込書」を用いて、事務局に届け出る。

(異動の手続き)

第3条 会員が届け出ている所属機関より他の所属機関へ異動する場合は、別紙2「異動届」を事務局に提出する。

(退会の手続き)

第4条 定款第9条に基づき本会から任意退会しようとする者は、別紙3「退会届」を事務局に提出する。

(会員の休会)

第5条 会員が諸事情により本会の活動に参加できない場合の休会（会費に関する定款補則第7条における減免）については、別に定める規定に基づき取り扱うものとする。

(総会の招集)

第6条 総会の招集は、事前に会議の日程・議事その他、必要な事項を会員に通知するものとする。

(役員選挙)

第7条 定款第26条に定める役員については、別に定める選挙規程に基づき選出する。

(役員会費・謝礼・委託費等)

第8条 定款第32条に定める役員に支弁する費用（役員会費）その他、謝礼・委託費等については、別に定める規定に基づき支給する。

(功労表彰)

第9条 功労表彰については、別に定める規定に基づき実施する。

(細則の改正)

第10条 この細則を改正するには、理事会において3分の2以上の賛成を得なければならない。

(細則の施行)

第11条 この細則は、2022（令和4）年5月28日から施行する。

【定款細則第2条関係-別紙1】

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会

入会申込書

(正会員・準会員用)

入会申込年月日 :年.....月.....日 会員資格区分 : 正会員・準会員 申し込み者氏名 ^{フリガナ} :印 生年月日 : S・H 年.....月.....日 才	
所属機関 :(フリガナ:.....) 配属部署 : 役職名 : 所在地 : 〒..... TEL : FAX : メールアドレス : MSW業務 :専任・兼務..... 雇用形態 :常勤・非常勤.....	
最終学歴 : S・H・R 年.....月.....日 ~ S・H・R 年.....月.....日大学学部学科卒業 (卒論テーマ等.....) S・H・R 年.....月.....日 ~ S・H・R 年.....月.....日大学学部学科卒業 (卒論テーマ等.....)	
業務内容:(現在行っている業務に○をし、その具体的内容について記入する) ① 経済的問題の解決・調整援助..... ② 療養中の心理社会的問題の解決・調整援助..... ③ 受診・受療援助..... ④ 退院(社会復帰)援助..... ⑤ 地域活動.....	
実務経験 : ① S・H・R 年.....月.....日 ~ S・H・R 年.....月.....日 (.....年.....ヶ月) 所属機関..... 配属部署..... 雇用形態 : 常勤・非常勤 専任・兼務 ② S・H・R 年.....月.....日 ~ S・H・R 年.....月.....日 (.....年.....ヶ月) 所属機関..... 配属部署..... 雇用形態 : 常勤・非常勤 専任・兼務	
資格 : 社会福祉士 精神保健福祉士 その他 (.....)	
理 事 会	審査日:令和.....年.....月.....日 決.....済:.....年.....月.....日より入会 適否:.....承認・却下・条件付 会員区分 :.....正会員・準会員..... 条件等:.....年.....月より正会員へ 受理書発送:.....年.....月.....日
	事務局印

入会申込書記入上の注意

【はじめに】

- ① 当協会入会については、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款を熟読し、当協会の主旨及び活動内容等を十分にご理解いただいた後、入会申込書への記入をお願いします。
- ② 当協会では、入会を希望する者が行っている業務の内容を尊重し、その実態をもって正会員・準会員への入会を検討する。例えば、医事課所属であっても医療ソーシャルワーク業務を行っている者については、規約に基づいて入会を許可する。

【所属機関等】

- ① 所属機関については、現在所属する保健医療機関を記入する。
- ② 所属部署については、医事課・医療福祉科・医療福祉相談室等、その機関の配属部署名を記入する。
- ③ 役職名は、MSW・相談指導員・医事係等と記入する。管理職についてはその旨も記入する。
- ④ 専任・兼務の別はMSW業務を行うに当たり、専任あるいは兼務の別を選択する。雇用形態についても常勤・非常勤の別を選択する。

【最終学歴】

- ① 卒業した大学等を記入する。中退の場合は記入する必要はない。
- ② 学部及び学科または専攻課程まで記入する。
- ③ 卒論テーマ等については、在籍していたゼミまたは個人の研究テーマについて記入する。

【業務内容又は実務経験ならびに資格】

- ① 現在行っている業務内容を具体的に記入する。スペースが足りない場合は、別紙に記入してもよい。
- ② 過去の実務経験を持つ者は、その期間中の業務内容（医療ソーシャルワーク業務）についても具体的に記入する。
- ③ 配属部署及び雇用形態、専任兼務の別は【所属機関】－②・③・④に同じ。
- ④ 資格については、医療ソーシャルワーク業務に関わる国家資格等を記載すること。

【理事会記入欄】

- ① 理事会記入欄は当協会で使用するので記入しないこと。

【その他】

- ① 記入に当たって不明な点は事務局まで問い合わせして下さい。
- ② 理事会で審議した後、受理書を交付します。
- ③ 受理書の交付を受けた段階で、入会金及び年会費を納入して下さい。事前の入金は寄附として扱わせていただきます。また、入金された会費あるいは入会金については、返金しませんのでご注意ください。
- ④ 受理書が交付された段階で会員としての資格が発生します。研修会等のご案内はその都度発送しますので、積極的に参加して下さい。

異 動 届

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会
会長 殿

1. 私は、入会時届け出た施設から異動しますので、届け出を行います。
2. 私は、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款第5条（賛助会員）の（2）に
該当するものとして、賛助会員への加入を希望（ します ・ しません ）。

※該当するものに、○を付してください

年 月 日

所 属 _____
(異動前の所属機関名)

氏 名 _____

異 動 先

※ 必ず記入して下さい。

所属（ _____ 部署： _____ ）

〒 _____
住 所： _____

電話番号： _____ () FAX： _____ ()

退 会 届

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会
会長 殿

1. 私は、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款第 9 条及び、細則第 4 条に基づき、

当協会を（ _____ 年 _____ 月 _____ 日 付け）で退会致します。

2. 私は、退会にあたり、退会年度までの年会費をお支払いします。

年 月 日

所 属 _____

氏 名 _____

退会後の連絡先

※ 必ず記入して下さい。

所属（ _____ 部署： _____ ）

〒 _____
住 所： _____

電話番号： _____（ _____ ） FAX： _____（ _____ ）

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会休会規定（案）

（目 的）

第1条 この規定は、定款細則5条に規定する会員の休会（会費に関する定款補則第7条における減免）について定める。

（休 会）

第2条 会員が諸事情により本会の活動に参加できない場合に、会員は休会することができる。

2 諸事情とは、自身の病気、海外留学、出産・育児、家族の介護等のことをいう。

（休会中の会員資格）

第3条 休会中は会員資格を停止し会報の送付等を停止する。総会の議決権も停止する。

（休会の手続き）

第4条 休会する会員は、別紙1「休会届」を事務局に提出する。なお、諸事情により、会員自身が休会届を提出できない場合には、所属機関等による届け出を認める。

（休会期間の会費）

第5条 休会を開始した年度の年会費は支払うものとする。

2 休会を開始した次年度以降の年会費については、2年を上限として免除するものとする。

（休会期間の上限）

第5条 会費を免除された年度が2年を経過したのち、免除されて3年度途中で復会の手続きが行われなかった場合は、当該年度末をもって任意退会したものとする。

（復会の手続き）

第6条 復会を希望する会員が、休会した年度の末日の次の日以降3年後の年度の末日までの間に、別紙2「復会届」を事務局に提出し、復会を届け出た年度の年会費を直ちに支払った場合に、復会をみとめる。

（規定の改正）

第7条 この規定を改正するには、理事会で3分の2以上の賛成を得なければならない。

（規定の施行）

第8条 この規定は、2022（令和4）年5月28日より施行する。

【休会規定第4条関係-別紙1】

休 会 届

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会
会長 殿

1. 私は、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会休会規定第4条に基づき、
当協会を（ _____年 _____月 _____日 付け）で休会します。
2. 私は、休会にあたり、休会開始年度までの年会費をお支払いします。

年 月 日

会員所属機関名 _____

会員氏名 _____

【会員本人が休会届を提出できない場合】

(その理由： _____)

代理人氏名 _____ (会員との関係 _____)

代理人所属機関名 _____ 部署 _____

休会中の連絡先 (会員本人 ・ 代理人) ※どちらかに○を付けてください

〒 _____
住 所 : _____

電話番号 : _____ () FAX : _____ ()

【休会規定第6条関係-別紙2】

復 会 届

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会
会長 殿

1. 私は、当協会を（ _____ 年 _____ 月 _____ 日 付け）より休会致しておりましたが、
一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会休会規定第6条に基づき、
当協会に（ _____ 年 _____ 月 _____ 日 付け）より復会します。
2. 私は、復会にあたり、復会する年度の年会費を直ちにお支払いします。

年 月 日

会員所属機関名 _____

会員氏名 _____

連絡先

〒 _____
住 所 : _____

電話番号 : _____ () _____ FAX : _____ () _____

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会役員選挙規程

(目 的)

第 1 条 一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会定款第 27 条に規定する役員の選出を適正に行うためにこの規程を定める。

(選挙管理委員会)

第 2 条 理事会は役員選挙にあたって、定期総会開催前に、会員の中から東部・中部・西部各ブロック 1 名ずつ計 3 名を選挙管理委員として委嘱し、次期役員選出のための選挙管理委員会を発足させる。

(選挙管理委員会の任務)

第 3 条 選挙管理委員会は次期役員選挙に関する一切の事務処理を行う。

(被選挙人)

第 4 条 被選挙人は、正会員を対象とする。

(選挙方法)

第 5 条 選挙は下記の方法で行う。

(1) 理事については各ブロックごと 4 名を、以下の基準に基づき選出する。

- ①立候補・推薦の受付は告示より 10 日間とし、立候補・推薦が定数を満たす場合は、それをもって終了する。
- ②立候補・推薦が定数を満たさない場合は、欠員について直接選挙を実施する。
- ③各ブロックにおいて立候補・推薦が定数を超える場合は、候補者選挙を実施する。

(2) 監事については各ブロック持ち回りで 2 名を、推挙により選出する。

(選挙結果)

第 6 条 直接選挙ならびに候補者選挙による場合は、以下の基準に基づき当選とする。

- ①得票の多い者から順次当選とする。
- ②得票同数の場合は、選挙管理委員会において調整し決定する。

(役員 of 辞退)

第 6 条 正当な理由による役員辞退の申し出があった場合は、理事会で協議し欠員とすることができる。

(欠員の補充)

第 8 条 欠員が生じた場合は、次のとおりとする。

- (1) 当該選挙後、初めて開催される定期総会前に欠員が生じた場合は、次点者がある場合は繰り上げる。次点者がいない場合は、役員選挙規程第 5 条に準じ補欠選挙を実施する。
- (2) 当該選挙後、初めて開催される定期総会後に欠員が生じた場合は、役員選挙規程第 5 条に準じ補欠選挙を実施する。ただし、協会運営に支障が生じないと理事会が判断した場合は、この限りではない。
- (3) 繰上げもしくは補欠選挙によって当選した者の任期は、前任者の残任期間とする。

(規程の改正)

第 9 条 この規程を改正するには、理事会で 3 分の 2 以上の賛成を得なければならない。

(規程の施行)

第 10 条 この規程は、2022（令和 4）年 1 月 1 日より施行する。

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会選挙管理委員会事務の手引

(目 的)

第1条 本手引は、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会役員選挙規程第2条および第3条にもとづき役員選挙を円滑にすすめるために定める。

(委員の構成)

第2条 役員選出の事務を執行するため、東部、中部、西部の各ブロックより1名ずつ、理事会より委嘱された委員により構成し、互選により選挙管理委員長を選出する。

(事務の流れと目安)

第3条 業務の流れと目安を以下のとおりとする。

- (1) 告示 1月末までに行う。
- (2) 選出(選挙) 2月末までに行う。
- (3) 当選者の決定 3月末までに行い、当選者及び理事会に報告する。
なお、当選者には当選証書を交付する。
- (4) 報告及び承認 選出後行われる総会にて選挙結果を報告し、総会の承認を得る。

(理事の選出)

第4条 理事の選出を以下のとおり実施する。

- (1) 当該年度1月1日現在の正会員名簿に基づき、ブロックごとに立候補・推薦を受付ける。
受付期間は、告示日より10日間とする。
- (2) 立候補者・被推薦者が定数内の場合は当選とする。
- (3) 立候補者・被推薦者が定数を超える場合は、候補者選挙を実施する。
- (4) 立候補者・被推薦者が定数に満たない場合は、不足数につきブロックごとに直接選挙を実施する。

(監事の選出)

第5条 監事の選出については、定数2名が同一ブロックからの選出とならないことを原則に、各ブロックより推挙し総会にて承認を得る。

(選挙方法)

第6条 第4条の(1)及び第5条については所定の書式(立候補・推薦届)により受け付ける。

- 2 第4条の(1)及び第5条についての意志確認は、締め切り当日の午後12時まで、立候補・被推薦当事者から理事を受ける事についての明確な意思表示を電話等で選挙管理委員が確認し、かつ他に立候補・被推薦当事者が居ない場合は、所定の書式手続きをしたものとみなす。但し、後日所定の書式を提出することとする。(所定の書式手続きをしなかった場合は、立候補・推薦しなかったものとみなす)

(当選の決定)

第7条 当選は以下の基準により決定する。

- (1) 立候補者・被推薦者が定数内の場合、第4条(2)による。
- (2) 候補者選挙ならびに直接選挙については、得票の多い者から順次当選とする。
- (3) 得票同数の場合は、選挙管理委員会において調整し決定する。

(選挙管理委員会の任期)

第8条 理事会の委嘱を受けた日より任期は始まり、次期の委員が委嘱されるまでの期間とする。

(手引の改正等)

第9条 この手引を改正するには、選挙管理委員会の発議に基づき、当協会役員選挙規程との整合性を保持し、理事会の承認を得なければならない。

なお、この手引にもとづく事務において不測の事態が発生した場合は、当協会定款、当協会役員選挙規程、民法及び公序にもとづき処理を行う。

(手引の施行)

第10条 この手引は、2022（令和4）年1月1日より施行する。

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会
選挙管理委員長 様

年度役員選挙立候補・推薦届け

私議、 年度 静岡県医療ソーシャルワーカー協会の役員選挙に

(1. 立候補 2. 被推薦を承諾) します。

役職名 (理事・監事)

年 月 日

所属機関 _____

候補者氏名 _____

推 薦 届 け

(※ 立候補の場合は不要)

令和 年 月 日

所属機関 _____

推薦者氏名 _____

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会役員会費・謝礼・委託費等規定

(目 的)

第1条 この規定は、定款細則第8条に基づき、本会の事業を円滑にすすめるために定める。

(本会の用務)

第2条 本会の用務とは以下の場合をいう。

- (1) 理事会及び関係機関との打合せを行う場合
- (2) 研修・出版等の為の準備・打合せを行う場合
- (3) 理事会の委託を受けた会員が会議等へ出席する場合
- (4) その他、理事会において本会の用務と認めた場合

(役員会費)

第3条 役員の報酬は、無償でおこなうものとする。ただし、以下の必要経費については支給する。

- (1) 役員会等、第2条において規定する本会の用務（以下、本条においては、用務）にかかる交通費は、実費支給する。ただし、第2条（3）および（4）の場合で、会議主催者等より報酬ならびに交通費等が支給される場合は、支給しないものとする。
- (2) 用務により食事を必要とする場合、妥当な範囲において実費を支給することができる。
- (3) 用務により宿泊を必要とする場合、妥当な範囲において実費を支給することができる。
- (4) その他、理事会において必要と認めた経費について実費支給する。（事前承認を原則とする）
- (5) 支給した経費については役員会費として計上し、会計報告を行う。
- (6) なお、役員会費からは源泉徴収を行わない。

(謝 礼)

第4条 本会の事業推進にあたって招へいた講師に対しては、「講師謝礼支払基準」（別紙）のA～Eに定める金額から源泉徴収を行った後の金額を支給する。なお、所属機関の業務として派遣される等の場合で、謝礼が招へいた講師個人に支払われない場合においては、源泉聴取を行う前の金額を所属機関へ支払うものとする。

- 2 実状に合わせて100%まで加算することができる。さらに、特別な場合は理事会において協議し決定する。また、会員が講師の場合は一般公開のみを同等の扱いとする。
- 3 内部研修・初任者研修等については、「講師謝礼支払基準」のFに定める金額とする。
- 4 上記いずれの場合も交通費は実費支給するものとし、交通費からは源泉聴取を行わない。

(委託費)

第5条 総会、研修会のまとめ（パソコン作業）、テープ起こし等を会員に委託した場合は、次に定めたとおりとする。

- 2 委託費を支払う用務かどうかの判断は理事会で決定する。

内 訳	30分につき	A4判 1枚につき
テープ起こし	3,000円	
パソコン作業		500円

(その他の費用)

第6条 協会運営に付随した費用は実費弁済とする。

- 2 協会運営に付随した用務かどうかの判断は理事会で決定する。

(規定の改正)

第7条 この規定を改正するには、規定改正の主旨・内容を会員に報告したあと、理事会で3分の2以上の賛成を得なければならない。

(規定の施行)

第8条 この規定は、2022（令和4）年4月1日より施行する。

(補 足)

- 1 謝礼については「契約の概念」を導入し、謝礼・交通費について講師に事前に報告し了解を得た上で依頼する。また、講師より条件提示があった場合は理事会に報告し、協議の上で判断する。
- 2 第3条の「実状」とは世間相場であるが、規定が形骸化しないように配慮すること。また「特別な場合」とは、講師謝礼支払基準によると著しく世間相場からかけ離れる場合をいう。

講 師 謝 礼 支 払 基 準

2022（令和4）年5月28日 施行

支 払 対 象 区 分		1 時 間 当 り の 支 払 額		
		講 演 講 義	スーパバイザ ー・ファシリテ ーター・グルー プリーダー等	
講 師 基 準	A	各界の著名人	理事会協議 (2～10万円)	理事会協議 (1～5万円)
	B	大学教授・医師(※)・弁護士(※) 官公庁部長級・その他それに準ず る者。(※は経験は15年)	12,000円	6,000円
	C	大学准教授・医師・弁護士 官公庁課長級・その他それに準ず る者。	10,000円	5,000円
	D	大学講師・官公庁課長補佐級 その他それに準ずる者。	9,000円	4,500円
	E	大学助教・官公庁職員 医療技術職群・その他それに準ず る者	8,000円	4,000円
	F	当協会会員	5,000円	2,500円

※講義を動画撮影した場合、謝礼額は動画時間の1.5倍で計算する。

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会功労表彰規定

- 第1条 功労表彰は、すべてこの規定によって行う。
- 第2条 功労表彰は、会長がこれを行う。
- 第3条 功労表彰は、一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会事業の発展に寄与し、且つその功績が特に顕著であったものについて、これを行う。
- 第4条 功労表彰は、毎年定期総会時にこれを行う。ただし、特別の事情がある時は、臨時にこれを行うことができる。
- 第5条 功労表彰には、表彰状にそえて記念品を授与するものとする。
- 第6条 功労表彰を受けるものの審査は、理事会で行う。
- 第7条 この規定の実施について必要な事項は、理事会において定める。
- 附 則 この規定は、2022（令和4）年4月1日より施行する。

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会功労表彰規定の取り扱いについて

1. 表彰について

表彰規定第3条に定める表彰の候補となりえる者の功労表彰基準は、概ね次のとおりである。

年 齢	実務年齢	備 考
50歳以上	30年以上	ここでいう実務年数とは、医療ソーシャルワーク等の業務を現場で従事した期間を指すものであって、その他の期間は含まない。なお、表彰時に本県協会正会員及び賛助会員に限る。
50歳以上	25年以上	上記の内容に加えて、静岡県医療ソーシャルワーカー協会理事を通算5年以上務めたことのある者。なお、表彰時に本県協会正会員及び賛助会員に限る。

2. 功労表彰基準日

功労表彰候補者の推薦にあたっては、毎年1月1日現在を基準として、年齢、実務（従事）年数等の計算を行うものとする。

表彰は、現職の者を対象にした表彰であるが、前年の基準日から、当該年の基準日までの間に退職等をした者は、現職とみなして表彰の候補者となり得る。

3. 功労表彰候補者の推薦要領

当該功労表彰の候補者推薦の要領は次のとおりである。

- (1) 推薦者・・・会員又は協会理事2名の推薦による。
- (2) 推薦締切日・・・毎年11月末日まで。
- (3) 推薦書形式・・・別紙のとおり。
- (4) 推薦上の留意事項
 - ・推薦者は、推薦する候補者が複数いる時は、必ず優先順位をつけること。

年度 功労表彰候補者推薦書

一般社団法人静岡県医療ソーシャルワーカー協会
 会長 殿

下記の者を、功労表彰の候補者として推薦します。

令和 年 月 日

推薦者	氏名	印
	所属	
	氏名	印
	所属	

功労表彰候補者の概要

ふりがな		性別	生 年 月 日
氏 名		男 女	大正 昭和 年 月 日 (歳)
現 住 所			
最 終 学 歴	年 月	卒 業	
現 職 業 (所 属)	役 職 ()		
《功労の具体的内容》			